



活動レポート No.29 をお手に取っていただき、ありがとうございます。現在、9月議会が開かれています。今回は、一般質問を中心にご報告します。
「桜が町の木だと知らなかった」「川端公園は今後どう

なるの?」そんな町民の皆さまの声も踏まえ、町の考えと今後の方向性を確認しました。

皆さまの声を、少しでも町のこれからにつなげていければと思います。

一般質問

9月議会 一般質問

■ 町の木「桜」(※1) 制定 40 年

Q. なぜ「桜」が町の木?

理念は受け継がれている?

A. 美しい自然景観の象徴として次世代に継承する。

町村合併 30 周年の際に、公募で選定。当時の思いは「**現在も同じ**」との答弁。



千歳川 (湯河原町 HP より)

Q. でも、その思いは今の町民や子ども達に伝わっている?

A. マスコットキャラクターや町民カレンダーなどで活用。

再質問では、広報や学校教育などを通じ、引き続き伝えていくことを検討する考えが示されました。

町の木は、定めるだけでなく、「**なぜ桜なのか、その思いを次世代へ伝えること**」が大切。制定 40 年を、町の自然や歴史を改めて知る機会につなげて、いただきたいと考えています。

■ 桜を、どう生かしていく?

Q. 町内の桜を、地域資源としてどう捉えている?

A. 大きな群生地ではないものの、川や広場など地域の景色をつかさどる自然資源であり、観光資源としての活用も可能との認識。

Q. 総合運動公園 (ゆめ公園) ・フラワーロードの桜 (※2)、もっと生かせない?

A. 総合運動公園と河津桜を育成するフラワーロードを、新たな観光名所につなげたいとの答弁。



ゆめ公園 (湯河原町 HP より)

来年 3 月のオレンジマラソン当日に商工会壮年部が企画する**花見イベント** (※3) とも連携し、SNS 等で発信していく考えも示されました。

桜は育つまでに時間がかかります。イベントだけで終わらせず、総合運動公園とフラワーロードを将来どんな場所にしていくのか。長い目で育てていくことが大切だと考えています。

■ 川端公園、今のままでいい?

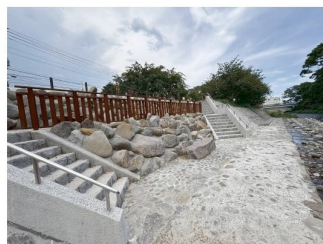
Q. 令和 6 年に示された再整備計画。その後どうなった?

A. EV 充電ステーションやモニュメント設置等の相談はあったものの具体化せず、町からは、令和 6 年 9 月の計画案 (※4) から**大きな進展はない**、との回答。

物価・人件費の高騰による事業費増加も大きな課題。新たな補助制度の活用や整備内容の精査を続けており、整備時期も決まっていません。

Q. 財源や補助制度を考える前に、そもそもどんな公園を目指す?

A. 基本は、「**町民のための親水公園**」。一方、立地を生かした観光資源としての可能性もあるとの考え。



県が整備した護岸

Q. 一度に全部ではなく、必要なものから段階的に整備できない?

A. 町は現時点では、「**一度に整備する**」考え。

私は、公衆トイレや老朽化した施設など、必要性和優先順位を整理し、複数年で段階的に整備する方法も提案しました。

補助制度の活用は大切。ただ、「使える補助金に合わせて整備する」のではなく、「**どんな公園にしたいか**」をまず考え、必要な整備と財源を検討する。この順番が大切ではないでしょうか。また、全体を一度に整備するとすれば、さらに時間がかかる可能性もあります。「**町民のための親水公園**」という目的に照らし、何が必要なのか。優先順位も含め、今後も確認していきます。

※1 町の木・花・鳥

町の木は「桜・椿」、町の花は「みかん」、町の鳥は「メジロ」。

※2 フラワーロード

総合運動公園につながる広域農道沿いに河津桜を植樹し、新たな桜の名所を目指して令和 4 年度から 6 年度で整備。

※3 花見イベント

→ 詳細は裏面を参照ください。

※4 令和 6 年の川端公園再整備計画案

モニュメント改修、マルシェ広場、公衆トイレなどを整備する、総額約 9,500 万円の計画案。

観 光

奥湯河原で進む新たな計画 ～ 民間開発を契機に温泉管を再整備

8月6日の環境・観光産業常任委員会を傍聴しました。奥湯河原では、NOT A HOTEL（以降NAH社）による新たな宿泊施設の計画（※）が進められています。

一方、地域の温泉送配湯管は布設から約40年が経過し、開発の有無にかかわらず更新が必要な時期を迎えています。今回、民間開発を契機に、事業者と町が連携して温泉管を更新・増強する方針が示されました。

事業費は約7億円を想定し、NAH社約60%、町約40%を負担する見込みです。私としては、必要なインフラ更新と民間開発を結びつける今回の取組は、意義のある方向性だと感じています。

今後の経過もしっかり確認しながら、財政面でのメリットとともに、奥湯河原に新たな観光価値が生まれることを願っています。

計画のポイント

温泉管の老朽化 + 新たな民間開発

官民連携で温泉管を再整備

奥湯河原の活性化へ

※「NOT A HOTEL YUGAWARA」（ノット・ア・ホテル・ユガワラ）とは？

奥湯河原に計画されている、温泉付きヴィラとスイートからなる滞在型リゾート。2028 年夏から順次開業予定。

観 光

桜の季節に、新たなイベント

9月議会では、商工会壮年部が計画する、湯河原温泉オレンジマラソン（来年3月開催予定）にあわせた花見イベントへの補助金が補正予算で可決されました。

多くの人を訪れるオレンジマラソン。「走る・温泉・グルメ」に、見頃を迎える「桜」を組み合わせ、湯河原の魅力をさらに楽しんでもらえる機会になりそうです。

会場となるゆめ公園までのアクセスなど課題もありますが、臨時バスなども検討されているようです。こうした地域からの新しい試みに期待しています。

レポート

8 月 活動報告

※ 成果ではなく目標に向けた活動状況を評価しました。

活動状況 セルフチェック ※★印にて評価

マニフェスト①: 4 つの活動方針

健康寿命をアップ	★★★	町民のつながりづくり	★★★
子育て世帯への支援	☆☆☆	人を呼ぶ湯河原へ	★★★

マニフェスト②: 2 つの約束

川端公園再整備の議論	☆☆☆	移動手段の早期検討	☆☆☆
------------	-----	-----------	-----

8 月の主な活動

8 月は、常任委員会副委員長として、親善都市・三原市への訪問や研修会、中学生派遣事業の報告会などに参加しました。また、議会運営委員会では、大阪府熊取町・兵庫県太子町を視察。

町内での活動はもちろん、町外にも目を向け、他自治体の取組やさまざまな考え方に触れる機会も大切にしています。そこで得た気づきを、湯河原での活動につなげていきたいと思っています。

- 神奈川県町村議会 委員長・副委員長研修会（8/5）
- 議会運営委員会（8/6・25）
- 環境・観光産業常任委員会（8/6）
- 議会だより編集委員会（8/6）
- 第 51 回三原やっさ祭り開幕式（8/7）
- 議会運営委員会視察（8/19～20）
- ポートステイブンス市中学生派遣事業 報告会（8/26）
- 五所神社例大祭（8/1） ● みやかみ夜まつり（8/1）
- 湯河原やっさ祭り（8/2～3）
- フレイルサポーター連絡会（8/10）
- みやかみナツヨイまつり実行委員会（8/10）
- 駅頭 挨拶（2 日間） / 公園ラジオ体操（13 日間） / 町民個別相談会

ニュース

第 7 回「対話会」を開催予定

町政や地域のことについて、皆さんと気軽に意見交換する「第7回 対話会」を、11月以降に開催予定です。

日程や会場など、詳細が決まり次第お知らせします。ぜひ皆さんの声をお聞かせください。

■ 笠原すすむ プロフィール

1965 年 長野県生まれ
1984 年 中央大学進学をきっかけに上京
2005 年 子育てを機に湯河原へ移住
2024 年 湯河原町議選にて当選

■ ご感想・ご意見などお待ちしております！

TEL : 090-3432-6497

E-Mail : yugawara.susumu@gmail.com



公式ホームページ



日々の活動を SNS で配信中！
(X / Facebook / Instagram)



公式 LINE

